

出状況・住民の活動状況

生ごみリサイクル都市をめざして～EMの生ごみ堆肥化～

氏家町上阿久津の主婦で構成しています「あじさい会」では、EMボカシを使った生ごみの「生ごみ堆肥化」に積極的に取り組んでいます。

4年程前から地域の主婦が中心となり生ごみの堆肥化・減量化に取り組み始め、家庭から排出される生ごみを専用の容器に入れ、EMボカシと混ぜ合わせ生ごみを堆肥化し、有機肥料として畑やプランターで利用しています。

「あじさい会」の世話人であります小倉フジ子さんは、「楽しく生ごみの堆肥化に取り組んでいます。家庭から出た生ごみを有機肥料として畑や花壇で利用しています。全ての家庭で生ごみを堆肥化し、生ごみのリサイクル都市が出来たら。!と、生ごみの堆肥化・減量化に向け微笑んでいました。



小倉フジ子さん

EMボカシを使った「生ごみ堆肥」利用

主な 利用方法

- ・ 畑での堆肥利用
- ・ 庭園植物の堆肥利用
- ・ プランターでの堆肥利用

EM生ごみ堆肥の基本的な作り方

1



三角コーナーは蛇口から離れたところに置き、生ごみに水がかからないように。生ごみ処理はその日のうちに

2



バケツに初めて生ごみを入れる時はEMボカシをバケツの底にさっとまく

3



よく水を切った生ごみを投入。乾いた生ごみは三角コーナーに溜めず、直接入れる

4



生ごみを入れるたびにEMボカシをひと握り分ふりかけて、生ごみと混ぜ合わせる

5



量が少ない時は、中フタを利用するなどして空気に触れない工夫をする

6



バケツのフタはしっかり閉める

7



発酵液が溜まったなら、そのつど取り出す。腐りやすいので、溜めないでその日のうちに使う

8



容器がいっぱいになったら直射日光の当たらないところに1～2週間置く

9



ヌカ漬のような発酵臭になれば成功

※生ごみ堆肥用専用バケツ・EMボカシはもよりの店舗で購入できます。